

よきおとずれ

カトリック釧路教会だより

〒085-0018 釧路市黒金町 12 丁目 10

第 6 号 2016 年 8 月 15 日聖母の被昇天 発行



一人ひとりの命を大切にするために

—脱原発講演会を終えて

クレト 中村道生神父

6月19日、脱原発講演会が開催された。講師の尾関敏明さんは聖公会の信徒で、この講演を始めるにあたり、「原発の安全神話の中で原子力の推進に関わってきた者として、5年前の震災で計り知れない損失を日本にもたらしました。……これは、私の十字架であり、不幸を引き起こしたのものとしてこのお話をすることはお詫びです。」と話された。

実は、日本聖公会・釧路聖パウロ教会ではここ数年、毎年尾関さんをお招きして脱原発学習会を行ってこられました。そして、私も松井牧師さんに誘われ昨年に引き続きこの3月、第6回脱原発学習会に参加しました。その時、釧路教会でもお話ししていただくかどうかお伺いした時も、これまで原発に関わってきたものとしてお詫びの思いで、どこにでも出かけて行ってお話しさせてもらっているの、いつでもお引き受けしますとの事でした。

以上のような経緯があって今回の釧路教会での脱原発講演会となったわけですが、お話を聞かれた信徒の皆さんは原発問題をどう受け止められたのでしょうか。私は、原子力エネルギーが抱えている様々な問題をこれからもまだまだ学んでいくとともに、具体

的に脱原発に向けてどう取り組んでいくかが問われていると感じました。

翌日、6月20日(月)釧路地区牧師会が聖アントニオ修道院と同じ緑ヶ岡にあるインマヌエル釧路キリスト教会で行われました。この牧師会は30年ほど続けられているそうですが、開催教会の牧師先生がそれぞれの教会の歴史を話してくださり、普段はなかなか聞けない裏話も含め、学ぶことの多い集まりです。教会は初代教会から全世界に発展するとともに分裂と争いの歴史を重ねてきましたが、カトリック教会から言えば、特にバチカン公会議後、互いを尊重し理解し、またそれぞれの過ちを認め合いながら和解と一致を目指して、教会一致祈祷会やクリスマス音楽会など、いろんな交流を続けてきました。現在はさらに宗派・宗教を超え、神が御子をお与えになるほど愛された「一人一人の命」を大切にする繋がりが大きな輪となって来ています。

「ユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあつて、一つだからです。」(ガラテヤ書 3 章 28 節)

カリシモ神父様、マウリリオ神父様
叙階 60 周年おめでとうございます



主の平和がいつも私たちの心を照らしてくださいますように

マウリリオ・ラザロ神父

さる「6月5日」カリシモ神父様と共に、神様のお恵みで司祭叙階60周年を祝うことができ、神様に感謝の祈りで私の心はいっぱいです。この日がくるとは思っていませんでした。この長い間、どんなに天の父である神様が私の上に自分の慈しみをお注ぎになったのかは、天にいくときにわかるでしょう。そして、今から始まった感謝の祈りが永遠に続けられますように、私の願いです。

皆さんにも感謝の心を表さなければなりません。60周年のミサ聖祭と祝賀会で司祭に対する愛情をよく感じました。イエズス様は、きつとうれしく思って、一人ひとりの上に祝福を注いで下さったでしょう。本当にありがとうございました。

これからも神様のみ恵みで力がある限り、皆さんと共に天国を目指して、生きていきたいと思えます。特別の感謝の言葉は、いつも、祈りと犠牲で支えて下さった多くの人々に…。彼らのおかげで、神様とマリア様は私の上にたえまなく、慈しみを注いで下さったのです。

2016年6月5日は私の心に深く刻まれて、忘れられない日です。本当にありがとうございます。

皆さんの上にイエズス様の祝福を願いつつ。



カリシモ神父様、マウリリオ神父様へ

メッセージ

司祭叙階 60 周年、心から感謝でいっ
まの宣教地にキリストの
ごくださり、私達を喜び
ご導いていただきありが
とうございます。お二人の神父様を通
して神に感謝！

マウリリオ神父様、カリシモ神父様
60 周年記念、おめで
道東地区のためにご
がとうございます。
どうぞお元気で、神様の豊かな恵みと
実りをお祈りしています。

今日はおめでとうございます。
いつも子どもたちのことを温
かく見守り、お導きいただき、
ありがとうございます。これか
ら子どもたちが神様のお恵
みを受け、光の子として歩んで
いけますようお導きください。

司祭叙階 60 周年おめでとうございます。
異国日本での宣教は大変なことであつた
だろうと思います。神様の御心のままにお
働きになられ罪深き私たちを導いてくだ
さいまして感謝しております。これからも
ご健康に留意されまして、私達と共にいて
くださいませ。
お二人への神様の豊かな恵みをお祈りさ
せていただきます。





叙階 60 周年、本当におめでとうございます。
言葉にならない感謝の気持ちでいっぱいです。ご健康にだけはくれぐれもご留意くださいませ。
言い尽くせない感謝と共に

私たちのために長い、長い間のお祈り感謝いたします。
私たちもお二人のために心をこめてお祈りしております。

おめでとうございます。お生まれになった地を遠く離れ、この地で長きにわたり沢山のご苦労をされ、私たちに神様の愛を教えていただきまして、心から感謝いたします。これからもお二人そろって、いつまでもお元気で、私たちの近くにいてくださいますように

いつくしみの特別聖年の佳き年に司祭叙階 60 年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。
カリシモ神父様、マウリリオ神父様の上にこれからも神様の豊かなお恵みを願い、健康に留意され聖務にお励みくださいますようお祈り申し上げます。私達、子どもたちのためにもお祈りをお忘れなく。



尾関敏明氏による「原発をやめるために」のご講演を聴いて

幼きイエスのテレジア 亀岡 延枝 コグト

平成 28 年 6 月 19 日ごミサの後、信徒の養成会が行われ 60 名が参加されました。帯広から来られた尾関氏は 5 年前の東日本大震災により発生した福島原発事故のお詫びの講演とお断りになり、はじめられました。「原子力」の安全神話を信じ、働いてきた当事者として、原発によるリスクの重大性を詳しい資料とともにスライドで説明してくださいました。原発は原子爆弾と同じものであり、核と生命は共存できないこと。

日本は広島、長崎の被爆国であるにも関わらず原子力産業を今なお押しすすめている現状に強い憤りを感じます。原発事故によるリスクは被爆した人に対しての補償は何もなく真実の報道もされません。

私は 30 年前、ポーランド・クラクフ市に住んでおりました。ウクライナで起きたチェルノブイリ原発事故に遭い、目に見えない放射能の恐怖を体験しました。国中で日本の広島、長崎での悲惨な話題が広がりましたが、私はアウシュビッツ強制収容所で亡くなられた人々が更に重なり、毎日泣いておりましたが、ポーランドの人々の強い信仰心に救われました。

ウクライナとベラルーシの国境にある 216 の廃村となった村の表示板が私達人間の重大罪を表している結果だと大変心が

痛みました。原発をやめるためには政界、電力会社、学会、財界、業界団体、メディアを相手に一般国民が一人ひとり共通善の実現のために何が一番生きるものにとって最善なのか良心に従って行動することが大切ではないでしょうか。

ある日の新聞で「くらしと防災」の紙面に大きく見やすくカラーで「噴火と大地震の危険地図」で国中を警告しているかと思いきや次の紙面では白黒で暗く不安そうな広告で「地層処分の実現に向けて NUMO は皆様と一緒に考えてまいります。」と書いてありました。

誰がいったい私たちの地球で生きるすべての命を考えてのことばなのかと責任の重大さを痛感いたしました。

尾関氏の講演でいろいろな大切なことに気付かせてくださいましたことに心から感謝申し上げます。

“キリストのように考え、キリストのように話し、キリストのように行い、キリストのように愛そう” いつもこの聖歌を歌う時、神様に願わずにはいられません。神に感謝



はじめまして

ヨセフ 島野 亮吾

皆さん、こんにちは。

今年の4月に留萌教会からやってきました、島野亮吾（しまのりょうご）です。洗礼名はヨセフです。今回縁があつてここ、釧路の教会にやってきました。今は一人暮らしで大学に通っています。今年からしばらくお世話になります。

大学の講義やYOSAKOI サークルなどで忙しくて、なかなか来れないこともあると思いますが、行ける時に行って少しでも神様のお役に立てれば幸いです。もし、教会や他の場所で見かけたら是非、声をかけてく

ださい。そうしてもらえればすごく嬉しいです。

少しでも釧路教会を盛り上げていけるようにお手伝いしますので、どうぞよろしく願います。



+マザーテレサが9月4日に列聖されることが決まりました。

「喜びは祈り、喜びは力、喜びは愛。

神は喜んで与える人を愛されます。

わたしたちが、

神と人々に感謝の心を表すいちばんよい方法は、

どんなことでも喜んで受け入れることです。」

(マザーテレサ・日々のことばより)

編集後記

偶然、編集に携わることになりました。会議では読者の皆様が楽しく読める記事が出来るように編集委員の皆さんが色々アイデアを出し合って作成しました。会議は意見を出し合うのが楽しかったです。私はあまりお手伝いできなかったのですが、とっても面白い号になったと思います。

(E. S)

カトリック釧路教会 〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10

TEL 0154-22-5823 FAX0154-22-5832

教会だより 編集：広報委員会

